

佐観工第7-3号

サンライズ城が浜大広間空調設備更新工事

図面リスト		
番号	図面名称	縮尺（A3）
M-01	機械設備工事特記仕様書（１）	N. S.
M-02	機械設備工事特記仕様書（２）	N. S.
M-03	付近案内図・配置図・工事概要	1/400
M-04	空調設備1階平面図(改修前・改修後)	1/200
M-05	空調設備2階平面図(改修前)	1/200
M-06	空調設備2階平面図(改修後)	1/200
M-07	空調設備1階平面詳細図(改修前)	1/100
M-08	空調設備1階平面詳細図(改修後)	1/100
E-01	電気設備工事特記仕様書（１）	N. S.
E-02	電気設備工事特記仕様書（２）	N. S.
E-03	動力設備2階平面図(改修前)	1/200
E-04	動力設備2階平面図(改修後)	1/200

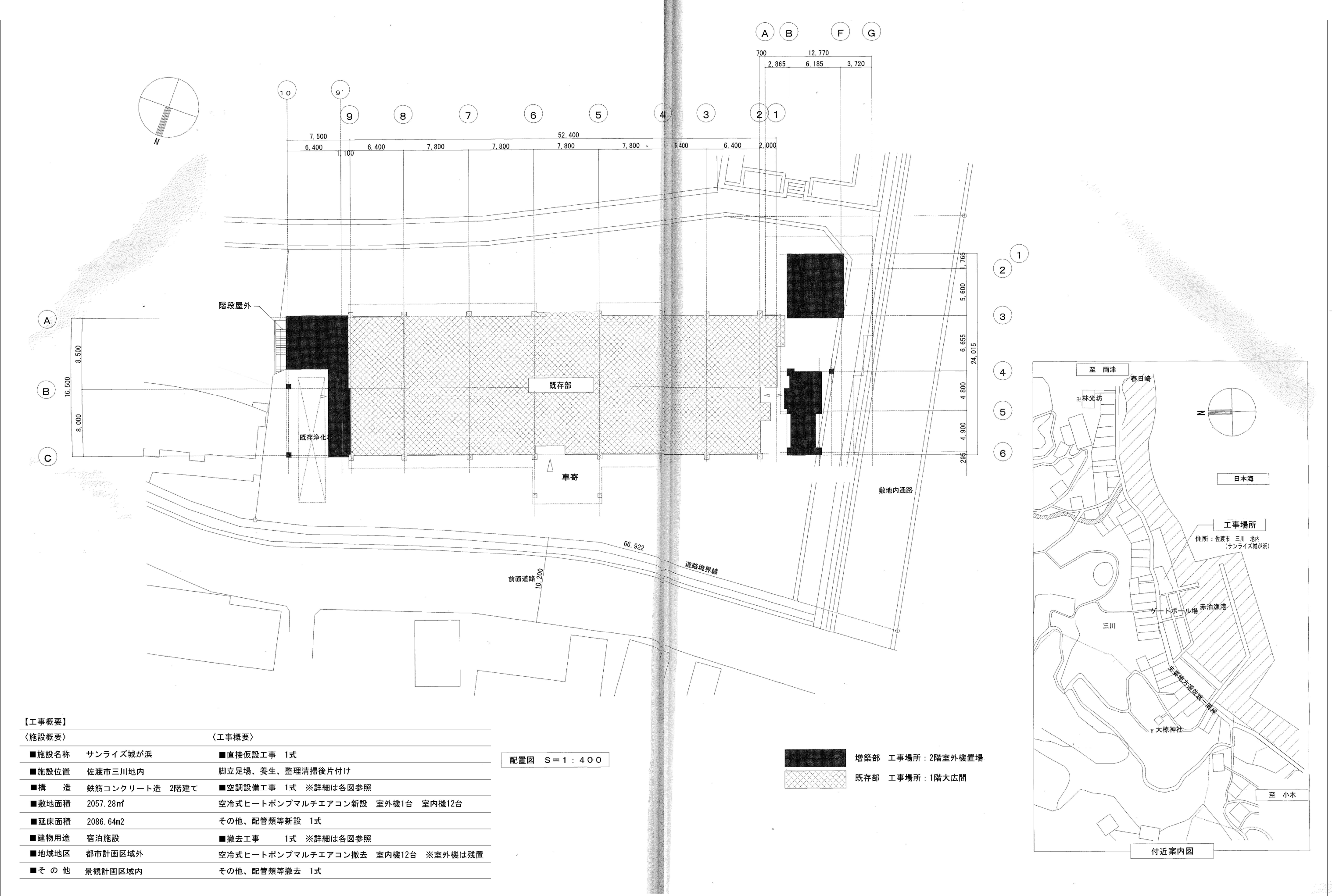
[illegible]

規 格			用 途 ・ 種 別 ・ 施 工 部 位										備考（接合法等）
名 称	番 号	備 考	給水管	給湯管	排水	通気管	消火	ガス	油	地中埋設	地中埋設		
			一般	内	外	一般	一般	一般	一般	一般	一般	一般	
【給水及び給湯管】													
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA	○									□ねじ □フランジ □nゲージ	
〃	〃	SGP-VB	○									□ねじ □フランジ □nゲージ	
〃	〃	SGP-YD	○									□ねじ □フランジ □nゲージ	
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管	JNWA K 140	SGP-HVA		○								□ねじ	
水道用ポリエチレン粉体管	JNWA K 132	SGP-PB	○									□ねじ □フランジ □nゲージ	
〃	〃	SGP-PD	○									□ねじ □フランジ □nゲージ	
一般配管用ステンレス鋼管	JIS K 3448		○	○	○							□圧縮・プレス □拡管式 □nゲージ （圧縮管はJIS K 3448の鋼管を使用する場合の保証材料は、別途材料仕様書とします。）	
鋼及び鋼合金継目無管	JIS H 3300	硬質(M)	○	○								□熱溶着 □電気融着 □圧縮	
外面被覆鋼管	JIS H3330		○	○								□圧縮	
保温付被覆鋼管	JCDA 0008		○	○								JIS H 3300の外面に発泡断熱材（厚さ14mm以上）で被覆したもの	
水道用硬質ポリエチレン管	JIS K 6742	VP又はH1VP	○	○								□接着 (TS) □コノ輪 (RR)	
水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6762			○								□軟質管・圧縮 □硬質管・圧縮	
水道配水用ポリエチレン管	JNWA K 144			○								□電気融着 □圧縮	
ポリエチレン管	JIS K 6778		○	○								□熱溶着 □電気融着 □圧縮	
ナロウゲージ鋼管	NSP067	SGP-FNP SGP-RNP	○									□フランジ □nゲージ	
【排水及び通気管】													
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管				○						□ねじ	
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管					○					□ねじ □nゲージ □溶接	
排水用硬質塩化ビニル管	WSP 042					○	○					□ねじ □MD	
排水用ポリプロピレン管	WSP 032					○	○					□ねじ □MD	
排水用塩化ビニル管						○	○					□ねじ □MD	
硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP				○	○					□接着 (DV) □コノ輪 (RR)	
〃	〃	VP				○	○					□接着 (DV) □コノ輪 (RR)	
〃	〃	VU				○						□接着 (VU) □コノ輪 (RR)	
排水用ポリプロピレン管	AS - 58	REP-VU				○						□接着 (VU) □コノ輪 (RR)	
ポリプロピレン管	JIS K 9798	RF-VP				○						□接着 (DV) □コノ輪 (RR)	
ポリプロピレン管	JIS K 9797	RS-VU					○					□接着 (VU) □コノ輪 (RR)	
耐火二層管						○	○					□接着 (DV) □コノ輪 (RR) 国土交通省認定品	
コンクリート管	JIS A 5328	圧管1種の硬質				○						□圧縮接合 (S形)	
【消火管】													
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452							○				□ねじ □nゲージ □溶接	
〃	JIS G 3454	STPG 370白管 Sch40						○				□ねじ □フランジ □nゲージ	
消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	WSP 041	SGP-VS							○			□ねじ	
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448								○			□圧縮・プレス □拡管式 □nゲージ	
ナロウゲージ鋼管	NSP067	SGP-FNP SGP-RNP								○		□フランジ □nゲージ	
【ガス管及び油管】													
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管							○			□ねじ	
ポリエチレン被覆鋼管	JIS G 3469	PLS							○			□ねじ □溶接	
〃	JIS G 3469	PLP							○			□溶接	
ポリエチレン管	JIS K 6774									○		□熱溶着 □電気融着 □圧縮	
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	黒管								○		□ねじ □溶接	
ポリエチレン被覆鋼管	JIS G 3469	PLS								○		□ねじ □溶接	
〃	JIS G 3469	PLP								○		□溶接	
(注) ●印及び■印を適用する。													
規 格			用 途 ・ 種 別 ・ 施 工 部 位										備考（接合法等）
名 称	番 号	備 考	冷温水管	冷排水管	給気管	給湯管	排水	通気管	消火	ガス	油	地中埋設	
			一般	内	外	一般	一般	一般	一般	一般	一般	一般	
【冷温水及び冷排水管】													
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管	○	○								□ねじ □nゲージ □溶接	
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA	○									□ねじ □フランジ □nゲージ	
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS 304	○									□圧縮・プレス □拡管式 □nゲージ （圧縮管はJIS K 3448の鋼管を使用する場合の保証材料は、別途材料仕様書とします。）	
【蒸気管及び油管】													
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	黒管			○	○						□ねじ □溶接	
圧力配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3454	STPG 370 黒管Sch40			○	○						□ねじ □溶接	
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS 304				○						□フランジ	
ポリエチレン被覆鋼管	JIS G 3469	PLS					○	○				□ねじ	
〃	JIS G 3469	PLP						○				□溶接	
【冷媒管】													
断熱材被覆鋼管	原管はJIS H 3300による										●	液管：■保温厚10mm以上 ガス管：■保温厚20mm以上	
【空調ドレン排水管】													
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管									○	□ねじ □MD	
硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP									●	■接着 (TS) □コノ輪 (RR)	
〃	〃	VP									○	□接着 (TS) □コノ輪 (RR)	
【給水管】													
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA									○	□ねじ □フランジ □nゲージ	
【空気抜き管】													
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管									○	□ねじ □nゲージ □溶接	
【配管】													
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管									○	□ねじ □nゲージ □溶接	
(注) ●印及び■印を適用する。 各項目で縦に2つ以上●がある場合、管種と使用部位は下記による。 (記載例) 給水管一般：SGP-VA（PS内）、ポリブテン管（住戸内）													

表 2-3 「発生材の処理等」				
1. 再生資材の利用				
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。				
再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考
2. 建設発生土の利用				
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。				
発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考
3. 建設発生土の搬出				
工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。				
受入工事名/施設名称				
工事場所/施設所在地				
連絡先				
仮置場所の有無				
備考				
4. 建設廃棄物の搬出				
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものと精算している。				
搬出する廃棄物名	混合くず	焼くず/砕くず	金属くず	木くず(無石綿)
処理施設名称	環境保全事業	同左	同左	同左
施設所在地	佐渡市小比類145-1			
連絡先	0259-51-2195			
備考				
上表は精算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。				
5. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。				
6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。				
7. 協議について				
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。				

＜表-3＞工事区分表				
注) 原則○印を適用する。				
項 目		本工事	建築工事	電気工事
■躯体関係				
1. RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け	○		
	補強を要する型枠材及び取付け		○	
	補強を要しない型枠材及び取付け	○		
	貫通孔・開口部の撤出し	○		
	貫通孔・開口部の補強		○	
	スリーブ・型枠の穴埋め		○	
2. S・SRC造・梁貫通口	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強		○	
	使用されたスリーブの穴埋め	○		
	予備スリーブの穴埋め		○	
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの		○	
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	
	屋外・屋上の基礎		○	
	屋上基礎で押スコンにアンカーしない軽微なもの		○	
	機器取付け用アンカー・架台		○	
	屋内受水タンク用の基礎		○	
■仕上げ関係				
軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強		○	
	補強を要しないボードの切り込み	○		
	開口部の撤出し	○		
■電気関係				
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）	○		
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線			○
	配線と付属操作リモコン等の取付け及び渡り配管配線	○		
■その他（工事区分を特に間違えやすい項目）				
天井材の取外し再取付	各種配管配線作業用		○	
床はつり補修	各種配管配線作業用			○
流し台・ガス台			○	
便所手洗い・カウンター			○	
洗面化粧台	衛生陶器は衛生設備		○	
ガス漏れ警報器		○		
		○		
24時間換気連動スイッチ	機器納入	○		
	取付			○
湯沸器連動スイッチ	機器納入	○		
	取付			○

Ⅲ 改修特記仕様				
① 一般共通事項	① 施工条件	施工場所の設備機能停止に伴う非施工場所の代替設備。 ※設けない 設ける（図示による） 天井解体の条件に従い、天井内の機器、配管及びダクト等を施工する。 天井解体の条件 ※ 建築工事 〇本工事（図示による） 工事車両の駐車場及び資機材置場については、次による。 ※敷地内 〇敷地外（受注者の手配とする） 状態、性能及び機能等、取外し前に行う確認項目は、監督員と協議する。 取外した機器は、清掃又は洗浄等を行う。 ※別途工事 〇本工事（図示による）	[1-1.3.3] [1-1.4.3]	
	② 再使用品		[1-1.4.3]	
	③ 固定された備品、机・ロカ等の移動			
	④ 本工事で設置する仮設	〇足場 内部足場の種別 ※ A ～ D 種 ・ E 種 ・ F 種 ・ G 種 外部足場の種別 ・ A ・ C 種 ・ B 種 ・ D 種 ・ E 種 外部足場は枠組足場とする。 足場を設置する場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 基発1226第2号令和5年12月26日）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の2の（1）手すり据置き方式又は（2）手すり先行専用足場方式により行うこと。 ・ 仮設間仕切り ※ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ※ 別途工事 〇本工事（図示による） 撤去前に内容物の回収を要する機器及び配管は図示による。 〇冷媒 ・ 吸収液 ・ 廃油	[1-2.2.1]	
	⑤ 養生		[1-2.2.3]	
	⑥ 内容物の回収		[1-3.1.1]	
	⑦ 撤去作業の安全対策	アスベスト含有材については次による。 ・ アスベスト含有材使用箇所（ ） ・ 本工事により含有について分析を実施する（箇所： ） ・ 撤去箇所は図示による。 〇大気汚染防止法第18条の15第1項による事前調査を実施する。 なお、撤去前にアスベスト含有の懸念がある場合は監督員と協議する。	[1-4.1.1] [1-4.1.2] [1-4.2.1]	
	⑧ 撤去跡の補修	壁付け機器、床置き機器及び天井付け機器撤去跡の取付けボルト孔、壁面、天井面の変色等の補修及び床補修等は、次による。 ※ 建築工事 〇本工事（図示による） 床、壁及び天井等の撤去後の開口部について、補修の方法及び仕上げの仕様は、次による。 ※ 建築工事 〇本工事（図示による）	[1-4.2.1] [1-4.2.4]	
	② 共通工事	① 既設配管の撤去	既設配管の撤去範囲は図示による。ただし、その位置で不具合と判断される場合は監督員と協議する。	[2-2.8.2]
		② 既設配管の撤出	下記の撤去材の集積場所は、監督員と協議する。 （ ）	[2-2.8.3]
③ 既設配管の再生		工法（ ） 調査箇所及びサンプリング個数は、図示による。	[2-2.2.11]	
④ 地中配管		・ 埋設する部分の舗装等のはつり及び復旧工事の施工範囲及び舗装仕様は、図示による。 ・ 地味対策は、図示による。 ・ 植栽、芝生、舗装、石貼、タイル等の移植及び撤去、復旧並びに再利用品等は、図示による。	[2-2.5.1]	
⑤ 試験		システム全体の試験 ※行わない ・ 行う（ ） 既設配管を含む部分の試験方法は監督員と協議する。 はつり作業を行う場合は、埋設物の調査を行い、埋設配管等に損傷を与えないように行う。 ・ 埋設配管等の確認方法でX線法を指定する場合は、図示による。 ・ 既存のコンクリート床及び壁等の配管貫通場所及び貫通口径は、図示による。 ・ 解体基礎の仕様（有筋・無筋、防水・非防水、寸法等）は、図示による。 ・ 防水層等の補修は、図示による。 ・ 基礎解体、撤去後の床面仕上げ及び補修は、図示による。	[2-2.7.1]	
⑥ はつり及び穴開け		既存のインサート及びアンカーボルトは原則として使用しない。やむを得ず既存のインサート及びアンカーボルトを再使用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。 引張強度の確認試験 ※行わない ・ 行う（ ） 下記の機器に使用するアンカーは耐震計算を行い選定する。 （マルチエアコン室外機 ） あと施工アンカーの試験は次による。 性能確認試験 ※行わない ・ 行う（ ） 施工後確認試験 ※行わない ・ 行う（ ）	[2-4.1.1] [2-4.1.3] [2-4.1.5]	
⑦ 既設基礎の解体はつり				
⑧ インサート及びロカ				
③ 追加特記事項		① 給水設備	下記の露出配管の保温は、ワンタッチ保温材（硬質ウレタンフォーム20mm）を使用する。 ・ シャワー室 配管材料は、＜表-1＞「使用配管材料一覧表」のとおり。 弁は、マレアルV形弁とする。 試験は、空気圧縮試験とし、最大常用圧力の1.5倍の圧力とする。試験結果のチャートを提出する。	
		② 給油設備		
	③ 空調設備	冷媒管は、断熱材被覆銅管（原管 J I S H 3300）とし、保温厚は以下による。 液管 ※ 10mm以上（呼び径9.52以下は8mmとしてよい）。 ガス管 ・ 10mm以上 ※ 20mm以上		
	<用語の説明> (1) 「撤去」とは、既存物を壊し取ること。 (2) 「取外し」とは、再利用を考慮して、丁寧に外すこと。 (3) 「撤去・新設」とは、既存物を撤去し、新たな物を設置すること。 (4) 「取外し・再取付け」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。 (5) 「備品移動」とは、工事の施工に支障となる備品を一時的な場所に保管し、工事終了後に元の場所に戻すこと。 (6) 「移動」とは、既存物を取外し、取付場所を変更して再取付すること。			
課 振 興 観 光 所		工 事 名		
232番地 FAX 0259-63-5124		新 更 設 備 調 空 間 大 浜 が 城 日 桑		



【工事概要】

〈施設概要〉		〈工事概要〉	
■施設名称	サンライズ城が浜	■直接仮設工事	1式
■施設位置	佐渡市三川地内	■脚立足場、養生、整理清掃後片付け	
■構造	鉄筋コンクリート造 2階建て	■空調設備工事	1式 ※詳細は各図参照
■敷地面積	2057.28㎡	■空冷式ヒートポンプマルチエアコン新設	室外機1台 室内機12台
■延床面積	2086.64㎡	■その他、配管類等新設	1式
■建物用途	宿泊施設	■撤去工事	1式 ※詳細は各図参照
■地域地区	都市計画区域外	■空冷式ヒートポンプマルチエアコン撤去	室内機12台 ※室外機は残置
■その他	景観計画区域内	■その他、配管類等撤去	1式

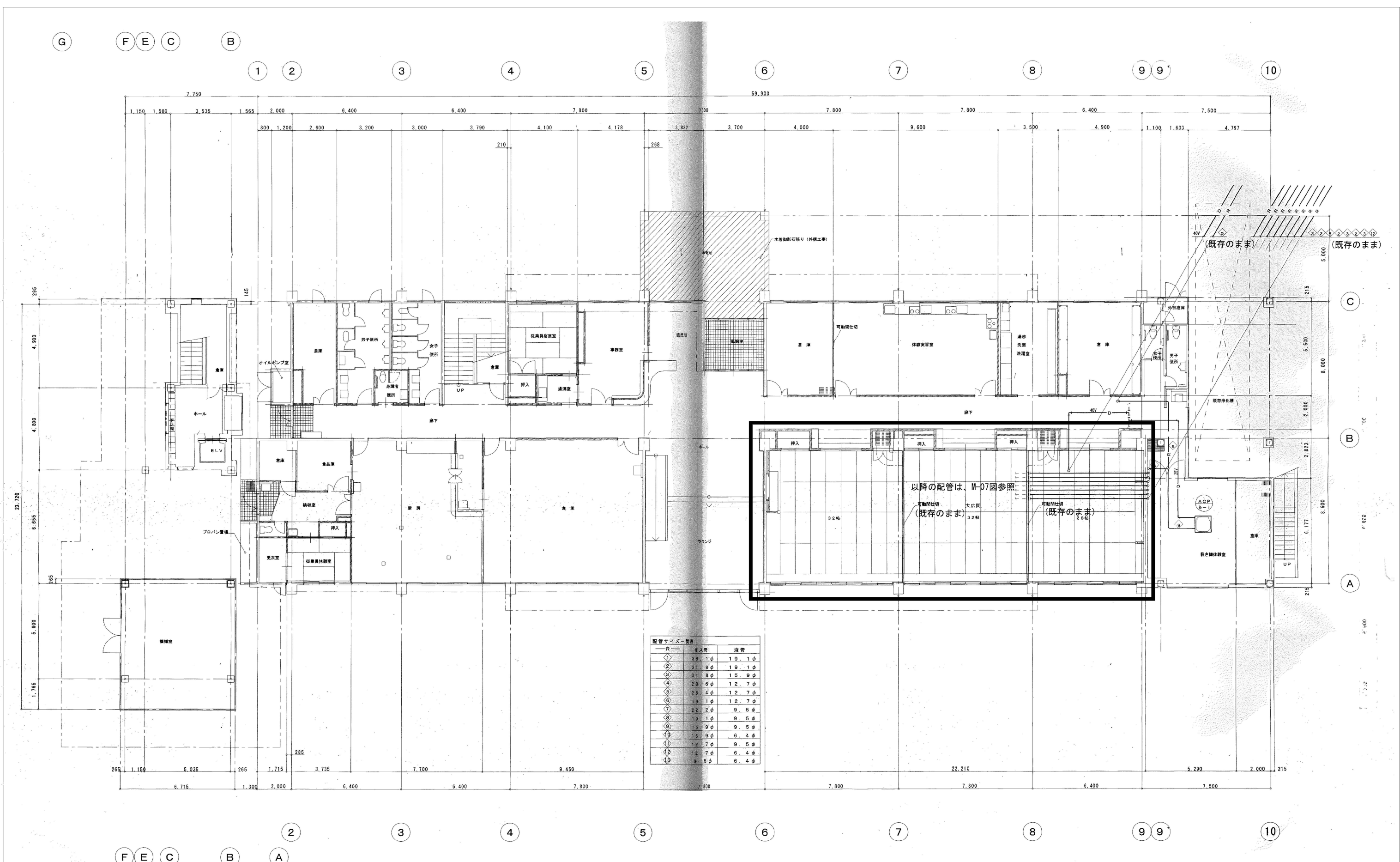
配置図 S=1:400

- 増築部
- 工事場所：2階室外機置場
- 既存部
- 工事場所：1階大広間

発注者
佐渡市役所観光振興課
新潟県佐渡市千種232番地
TEL 0259-67-7602 FAX 0259-63-5124

工事名
サンライズ城が浜大広間空調設備更新工事

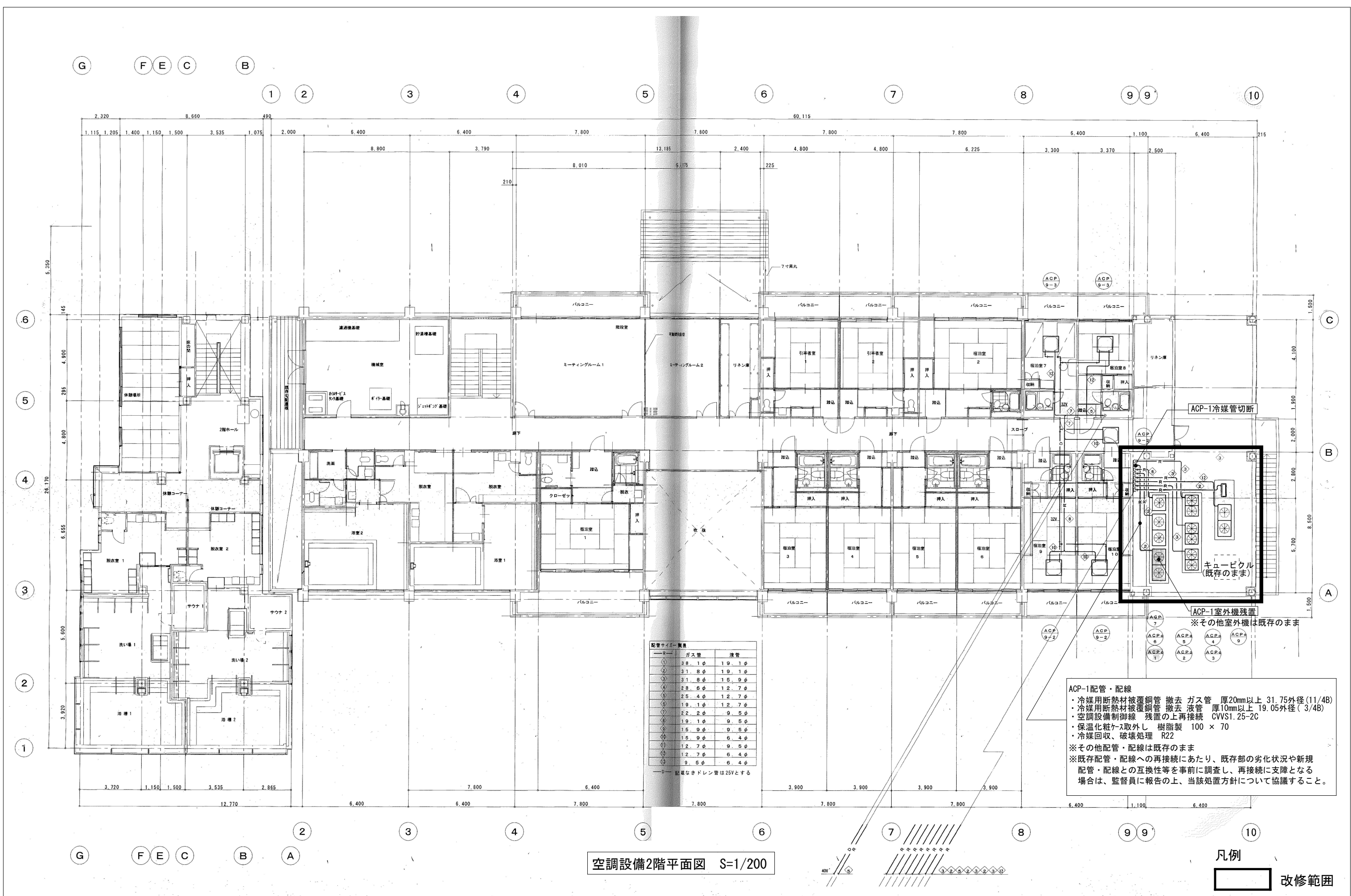
図名
付近案内図・配置図・工事概要
年 月 日
2025. 10
縮 尺
1/400
図面番号
M-03



配管サイズ一覧表			
R	ガス管	液管	
①	38.1φ	19.1φ	
②	31.8φ	19.1φ	
③	31.8φ	15.9φ	
④	28.6φ	12.7φ	
⑤	25.4φ	12.7φ	
⑥	19.1φ	12.7φ	
⑦	22.2φ	9.5φ	
⑧	19.1φ	9.5φ	
⑨	15.9φ	9.5φ	
⑩	15.9φ	6.4φ	
⑪	12.7φ	9.5φ	
⑫	12.7φ	6.4φ	
⑬	9.5φ	6.4φ	

空調設備1階平面図 S=1/200

凡例
 改修範囲

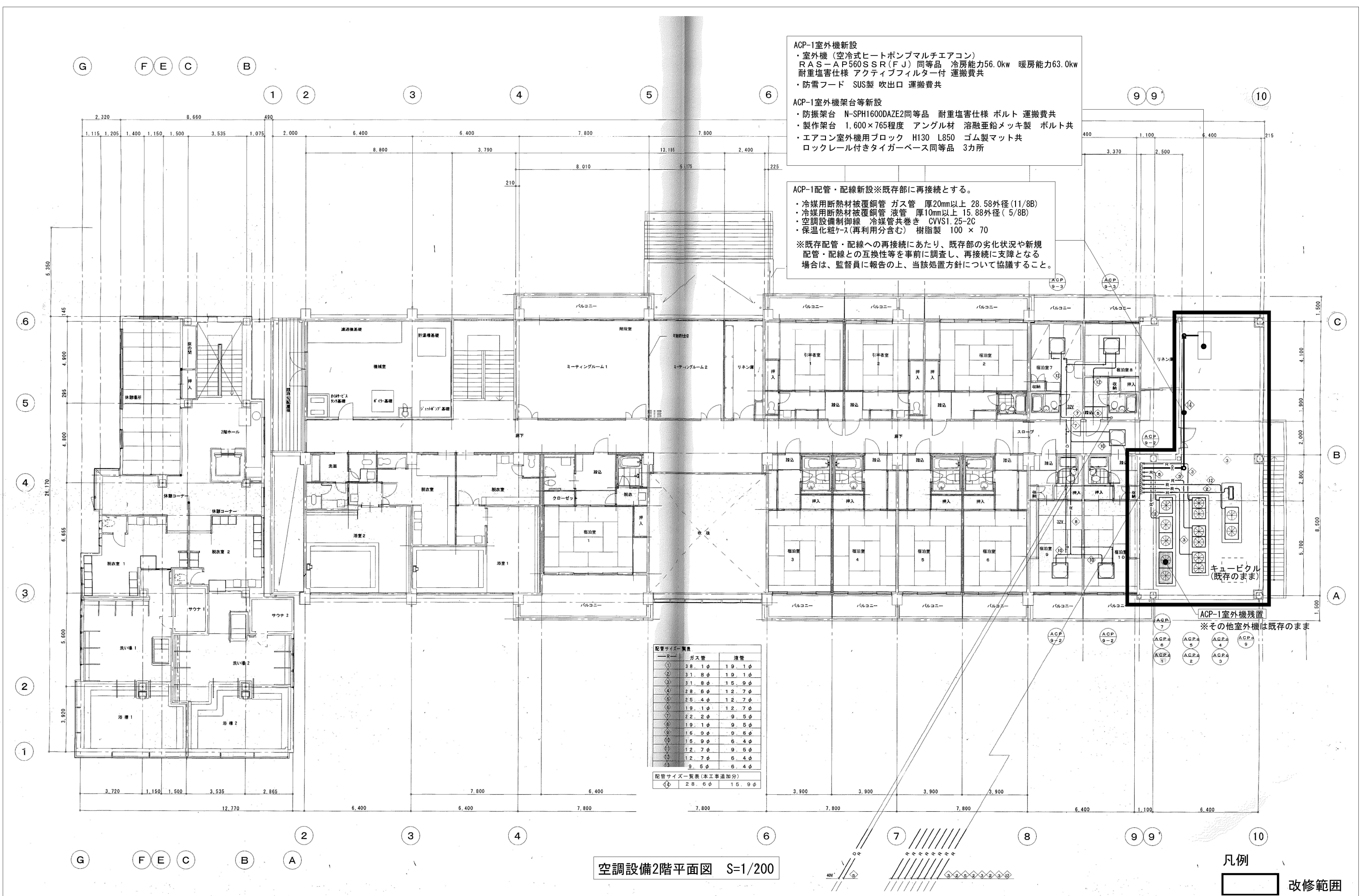


配管サイズ一覧		
—R—	ガス管	液管
①	36.1φ	19.1φ
②	31.8φ	19.1φ
③	31.8φ	15.9φ
④	28.6φ	12.7φ
⑤	25.4φ	12.7φ
⑥	19.1φ	12.7φ
⑦	22.2φ	9.5φ
⑧	19.1φ	9.5φ
⑨	15.9φ	9.5φ
⑩	15.9φ	6.4φ
⑪	12.7φ	9.5φ
⑫	12.7φ	6.4φ
⑬	9.5φ	6.4φ
—D— 記載なきドレン管は25Vとする		

ACP-1配管・配線
・冷媒用断熱材被覆銅管 撤去 ガス管 厚20mm以上 31.75外径 (11/4B)
・冷媒用断熱材被覆銅管 撤去 液管 厚10mm以上 19.05外径 (3/4B)
・空調設備制御線 残置の上再接続 CWS1.25-2C
・保温化粧ケース取外し 樹脂製 100 × 70
・冷媒回収、破壊処理 R22
※その他配管・配線は既存のまま
※既存配管・配線への再接続にあたり、既存部の劣化状況や新規配管・配線との互換性等を事前に調査し、再接続に支障となる場合は、監督員に報告の上、当該処置方針について協議すること。

空調設備2階平面図 S=1/200

凡例
改修範囲



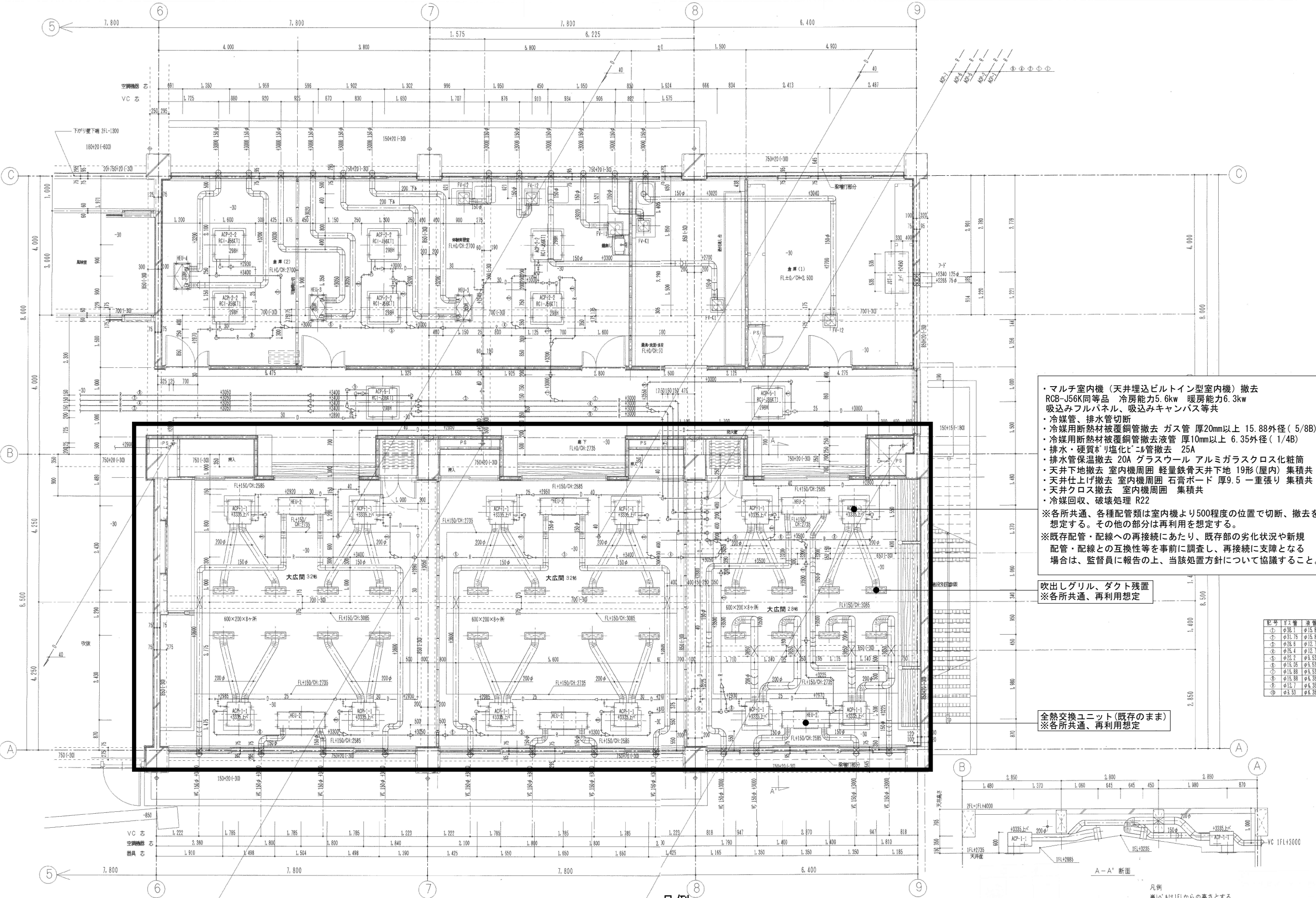
空調設備2階平面図 S=1/200

凡例
改修範囲

発注者
佐渡市役所観光振興課
新潟県佐渡市千種232番地
TEL 0259-67-7602 FAX 0259-63-5124

工事名
サンライズ城が浜大広間空調設備更新工事

図名
空調設備2階平面図(改修後)
年月日 2025. 10 縮尺 1/200 図面番号 M-06



- ・マルチ室内機（天井埋込ビルトイン型室内機）撤去
RCB-J56K同等品 冷房能力5.6kw 暖房能力6.3kw
吸込みフルパネル、吸込みキャンバス等共
 - ・冷媒管、排水管切断
 - ・冷媒用断熱材被覆銅管撤去 ガス管 厚20mm以上 15.88外径（5/8B）
 - ・冷媒用断熱材被覆銅管撤去液管 厚10mm以上 6.35外径（1/4B）
 - ・排水・硬質ポリ塩化ビニル管撤去 25A
 - ・排水管保温撤去 20A グラスウール アルミガラスクロス化粧筒
 - ・天井下地撤去 室内機周囲 軽量鉄骨天井下地 19形（屋内）集積共
 - ・天井仕上げ撤去 室内機周囲 石膏ボード 厚9.5 一重張り 集積共
 - ・天井クロス撤去 室内機周囲 集積共
 - ・冷媒回収、破壊処理 R22
- ※各所共通、各種配管類は室内機より500程度の位置で切断、撤去を想定する。その他の部分は再利用を想定する。
- ※既存配管・配線への再接続にあたり、既存部の劣化状況や新規配管・配線との互換性等を事前に調査し、再接続に支障となる場合は、監督員に報告の上、当該処置方針について協議すること。

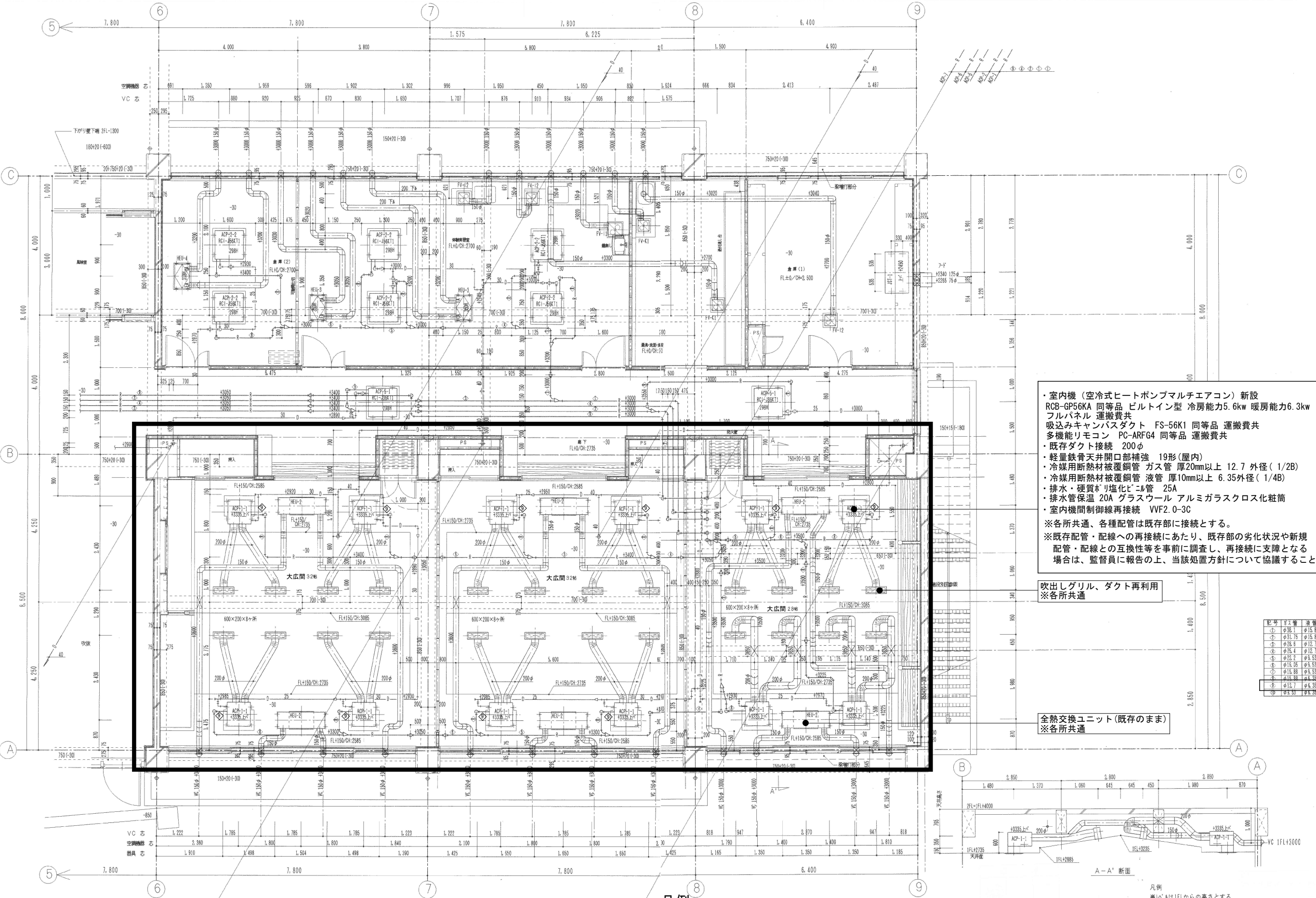
吹出しグリル、ダクト残置
※各所共通、再利用想定

全熱交換ユニット（既存のまま）
※各所共通、再利用想定

記号	寸法	管径
①	φ38.1	φ15.88
②	φ31.75	φ15.88
③	φ26.6	φ12.7
④	φ15.4	φ12.7
⑤	φ12.7	φ5.53
⑥	φ15.05	φ5.53
⑦	φ15.88	φ5.53
⑧	φ15.88	φ5.35
⑨	φ12.7	φ5.35
⑩	φ3.53	φ5.35

空調設備1階平面詳細図 S=1/100

凡例
改修範囲



- ・室内機（空冷式ヒートポンプマルチエアコン）新設
RCB-GP56KA 同等品 ビルトイン型 冷房能力5.6kw 暖房能力6.3kw
フルパネル 運搬費共
 - ・吸込みキャンバダクト FS-56K1 同等品 運搬費共
 - ・多機能リモコン PC-ARFG4 同等品 運搬費共
 - ・既存ダクト接続 200φ
 - ・軽量鉄骨天井開口部補強 19形(屋内)
 - ・冷媒用断熱材被覆銅管 ガス管 厚20mm以上 12.7 外径(1/2B)
 - ・冷媒用断熱材被覆銅管 液管 厚10mm以上 6.35外径(1/4B)
 - ・排水・硬質ポリ塩化ビニル管 25A
 - ・排水管保温 20A グラスウール アルミガラスクロス化粧筒
 - ・室内機間制御線再接続 VWF2.0-3C
- ※各所共通、各種配管は既存部に接続とする。
※既存配管・配線への再接続にあたり、既存部の劣化状況や新規
配管・配線との互換性等を事前に調査し、再接続に支障となる
場合は、監督員に報告の上、当該処置方針について協議すること。

吹出しグリル、ダクト再利用
※各所共通

全熱交換ユニット(既存のまま)
※各所共通

記号	寸法	管径
①	φ38.1	φ15.88
②	φ31.75	φ15.88
③	φ26.6	φ12.7
④	φ15.4	φ12.7
⑤	φ12.7	φ5.53
⑥	φ15.05	φ5.53
⑦	φ15.88	φ5.53
⑧	φ15.88	φ5.53
⑨	φ12.7	φ5.53
⑩	φ3.85	φ5.53

※本工事対象

空調設備1階平面詳細図 S=1/100

凡例
改修範囲

[illegible]

章

項目

特記事項

根拠項目

③追加特記事項

①公共事業労務費調査
②工事監理方式
⑤適用基準等
④総合図
⑥工事成績評定
⑦中間技術検査

※協力する。
共同監理あり※なし
・登録工事電子納品要領(案)(国土交通省大臣官庁官庁登録部登録計画課監修)
※工事運行マニアル(新潟県土木部都市局登録課作成)
※作成する作成しない
受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は工事運行マニアルによる。)
アスベスト含有の建材は使用しない。
ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は事前に監督員と協議を行うこと。
低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。
検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

<表-1>設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説令和3年版」建築設備の耐震設計による			
		特定の施設(・甲類・乙類)		一般の施設(・乙類)	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び屋簷	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6

重要機器：・配電盤・発電装置・直流電源装置・交流無停電電源装置
・交換機・火災報知受信機・中央監視装置
上層階の定義：2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

<表-2>あと施工アンカー

1共通事項	(1)既設のコンクリート及び鉄骨は原則として使用しない。やむを得ず既設のコンクリート及び鉄骨を再利用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。また、引張強度の確認試験については次による。 () (2)あと施工アンカーについては機械設備工事標準図(施工19)による。 (3)穿孔作業には、専用ドリル、振動ドリルやハンマドリル等を使用し、必要埋設深度を確保するため、穿孔深さのドリルへの表示やドリル付きドリルの使用等を行う。
2重要機器用のあと施工アンカー	(1)重要機器の耐震固定等に使用するあと施工アンカーは金属拡張アンカー又は接着系アンカーとし、耐震計算にて選定を行う。 (2)金属拡張アンカーの仕様は、次による。 (7)金属拡張アンカーは、(社)日本建築あと施工アンカー協会の金属系あと施工アンカー品質性能判定表の性能を満足する製品とする。 (4)金属拡張アンカーの埋付方法は、図示による。図示がなければ、本体打込み式とする。 (9)金属拡張アンカー本体の径及び埋込み深さは、図示による。 (1)アンカーの種類、径及び長さは図示による。 (3)接着系アンカーの仕様は、次による。なお、次により施工が困難な場合は、監督員と相談すること。 (7)接着系アンカーは、(社)日本建築あと施工アンカー協会の接着系あと施工アンカー品質性能判定表の性能を満足する製品とする。 (4)接着系アンカーは、アンカー型とし、接着剤の材質及びアンカーの種類は図示による。 (9)接着系アンカーの埋込深さ及び許容引抜荷重については、機械設備工事標準図(施工19)による。 (4)あと施工アンカーの施工には、工事内容に相应した施工の指導を行うあと施工アンカー技術管理士又は主任技士を置く。 (5)あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有する主任技士又は第1・2種あと施工アンカー施工士とする。 (6)あと施工アンカーの撤去は、専用の工具を使用し、構造物に影響を与えないようにすること。

<表-3>用語の説明

(1)「撤去」とは、既存物を壊し取ること。 (2)「取外し」とは、再使用を考慮して、丁寧に外すこと。 (3)「撤去・新設」とは、既存物を撤去し、新たな物を設置すること。 (4)「取外し・再取付」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。[1-1.4.3] (5)「備品移動」とは、工事の施工に支障となる備品を一時的な場所に保管し、工事終了後に元の場所に戻すこと。
--

<表-4>発生材の処理等

1.再生資材の利用

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2.建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下表の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3.建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下表の場所に搬出すること。

受入工事名/施設名称				
工事場所/施設所在地				
連絡先				
仮置場所の有無				
備考				

4.建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下表の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	混合くず	廃プラスチックくず	金属くず	ガラスくず(無石棉)
処理施設名称	環境保全事業	同左	同左	同左
施設所在地	佐渡市小比叡145-1			
連絡先	0259-51-2195			
備考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。
5.建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。
⑥自らの産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。
⑦協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

<表-5>工事区分表

注)原則○印を適用する。

ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項目		障	電	空	断	界			備考
躯体関係									
1.RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スラブ材及び取付け	○	○	○	○	○			
	補強を要する型枠材及び取付け	○							
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○			防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の量出し	○	○	○	○	○			防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○							
2.S・SRC造・はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管スラブ・補強	○							
	使用されたスラブの穴埋め	○	○	○	○	○			
3.設備機器の基礎	予備スラブの穴埋め	○	○	○	○	○			
	建築設計図に記入のあるもの	○							
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)	○	○	○	○	○			
	屋外・屋上の基礎	○							
	屋上基礎で撐えきれない軽微なもの	○	○	○	○	○			
仕上げ関係	機器取付け用アンカー・梁台	○	○	○					
	室内受水パイプ用の基礎	○							
軽鉄天井・壁下地	補強を要するガラスの切り込み及び下地の補強	○							
	補強を要しないガラスの切り込み		○	○	○				
電気関係	開口部の量出し		○	○	○				
電気配管配線	機器付属の制御盤以外の配管配線(接地線共)			○	○				二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線			○					一次側
	機器と付属操作スイッチの取付け及び渡り配管配線			○	○				
その他(工事区分を特に間違えやすい項目)	天井材の取外し再取付	各種配管配線作業用	○	△	△	△			小規模は監督員と協議
	床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△			小規模は監督員と協議
	流し台・ガス台・便所手洗い・カウンター		○						衛生機器は衛生設備
	洗面化粧台				○				
	排煙機		○						
	ガス漏れ警報器・24時間監視				○				誘導灯は電気設備 ガス漏れ火災警報設備は電気設備
	機器納入				○				
	運転スイッチ	取付		○					
	湯沸器	機器納入				○			
	運転スイッチ	取付			○				
上記以外	機器納入、取付			○					

<表-6>機器取付高

機器取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。

名称		測点	取付高(mm)
電力・水道	取引用計器	地上・上端	※2,000
	引込開閉器	〃	※1,800
電灯	分電盤	床上・中心	※1,500(上端1,900以下)
	タンブラスイッチ	〃	※1,300
	〃	〃	※900～1,000
	コンセント	〃	※300
	〃	〃	※200
	〃	〃	※150
	ブラケット	台上・中心	※150
	〃	床上・中心	※2,100
	〃	〃	※2,500
	〃	〃	※150
	〃	〃	※天井高×0.9
	非常照明器具用遮断器	-	※1,200
避難口誘導灯	床上・下端	※1,500以上	
廊下通路誘導灯	床上・上端	※1,000以下	
動力	壁掛型制御盤	床上・中心	※1,500
	手元開閉器	〃	※1,500(上端1,900以下)
	操作スイッチ・押ボタン	〃	※1,300
電話	室内端子盤	床上・下端	※300
	中間端子盤	床上・中心	※1,500
	保安器箱	〃	※天井高×0.9
	壁掛位置ボックス	床上・中心	※300
時計	〃	〃	※200
	壁掛形時計	床上・中心	※1,500(上端1,900以下)
拡声	子時計	〃	※天井高×0.9
	壁掛形スピーカー	床上・中心	※天井高×0.9
表示・電鈴	壁付音量調整器	〃	※1,300
	表示盤	床上・中心	※天井高×0.9
インターホン	壁付発信器	〃	※1,300
	ブザー・ベル	〃	※天井高×0.9
	押ボタン	〃	※1,300
	〃	〃	900～1,000
テレビ	壁付インターホン	床上・中心	※1,300
	身体障害者用	〃	※1,000
	壁付位置ボックス	〃	※300
	〃	〃	※200
火災報知器	機器収容箱	床上・中心	※1,500
	テレビアウトレット	〃	※300
	〃	〃	※200
	受信機・副受信機	床上・操作部	※800～1,500
ガス警報器	専用総合盤	床上・中心	
	発信器	〃	
	ベル	〃	2,300
	消火栓・表示灯	〃	※2,100
ガス警報器	試験器	〃	※1,500
	LPGガス用	床上・上端	※300以内
ガス警報器	都市ガス用	天井面・下端	※300以内

設計者

発注者

工事名

図名

年月日

縮尺

図面番号

佐渡市役所観光振興課
新潟県佐渡市千種232番地
TEL 0259-67-7602 FAX 0259-63-5124

サンライズ城が浜大広間空調設備更新工事

電気設備工事特記仕様書(2)

2025.10

N.S.

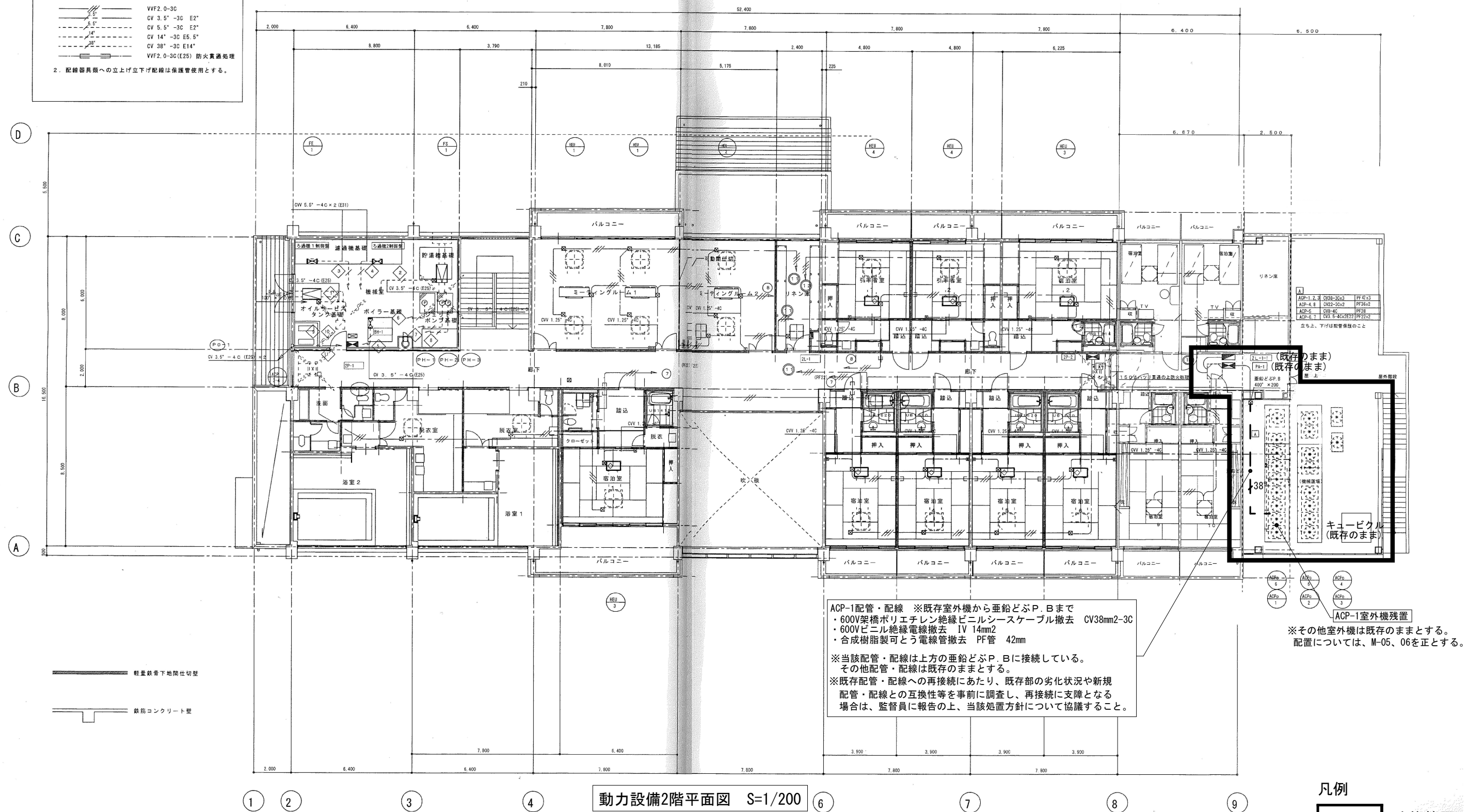
E-02

〈注 記〉

1. 特記なき配線・配管は以下とする。

	VVF2.0-3C
	CV 3.5' -3C E2'
	CV 5.5' -3C E2'
	CV 14' -3C E5.5'
	CV 38' -3C E14'
	VVF2.0-3C(E25) 防火貫通処理

2. 配線器具類への立上げ立下げ配線は保護管使用とする。



ACP-1配管・配線 ※既存室外機から垂鉛どぶP. Bまで
・600V架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル撤去 CV38mm2-3C
・600Vビニル絶縁電線撤去 1V 14mm2
・合成樹脂製可とう電線管撤去 PF管 42mm
※当該配管・配線は上方の垂鉛どぶP. Bに接続している。
その他配管・配線は既存のままとする。
※既存配管・配線への再接続にあたり、既存部の劣化状況や新規
配管・配線との互換性等を事前に調査し、再接続に支障となる
場合は、監督員に報告の上、当該処置方針について協議すること。

※その他室外機は既存のままとする。
配置については、M-05、06を正とする。

凡例
改修範囲

発注者
佐渡市役所観光振興課
新潟県佐渡市千種232番地
TEL 0259-67-7602 FAX 0259-63-5124

工事名
サンライズ城が浜大広間空調設備更新工事

図 名
動力設備2階平面図(改修前)
年 月 日 2025. 10 縮 尺 1/200 図面番号 E-03

〈注 記〉

1. 特記なき配線・配管は以下とする。

VVF2.0-3C
CV 3.5" -3C E2"
CV 5.5" -3C E2"
CV 14" -3C E5.5"
CV 38" -3C E14"
VVF2.0-3C(E25) 防火貫通処理

2. 配線器具類への立上げ立下げ配線は保護管使用とする。

ACP-1配管・配線 ※新設室外機から垂鉛どぶP.Bまで
・600V架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル CV38mm2-3C
・600Vビニル絶縁電線 IV 14mm2
・硬質ビニル電線管 VE 露出配管 42mm
・電動機結線

※既存配管・配線への再接続にあたり、既存部の劣化状況や新規配管・配線との互換性等を事前に調査し、再接続に支障となる場合は、監督員に報告の上、当該処置方針について協議すること。

ACP-1新設室外機

(既存のまま)
(既存のまま)

※その他室外機は既存のままとする。
配置については、M-05、06を正とする。

ACP-1室外機残置

動力設備2階平面図 S=1/200

凡例

改修範囲

発注者



佐渡市役所観光振興課
新潟県佐渡市千種232番地
TEL 0259-67-7602 FAX 0259-63-5124

工事名

サンライズ城が浜大広間空調設備更新工事

図 名

動力設備2階平面図(改修後)

年 月 日

2025. 10

縮 尺

1/200

図面番号

E-04